

明るい選挙 啓発ポスターコンクール

令和4年度 全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ごあいさつ

公益財団法人明るい選挙推進協会会長 佐々木 毅



公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。御協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募して下さった児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールは、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけとなることを目的としています。

令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、応募学校数、応募者とも大きく減少しましたが、本年度は応募学校数が8,321校、応募者数は116,776人と、令和元年度の約8割の水準まで回復しました。

審査は、市区町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としても御活用いただければ幸いです。

目次

ごあいさつ	2
目次	3
明るい選挙	4
令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール審査評	6
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田朝一	
令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項	9
令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況	10
全国優秀作品	
文部科学大臣・総務大臣賞	11
明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞	30

明るい選挙

● 明るい選挙 ●

民主政治は、国民の意思によって政治の在り方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

国や地方の政治が私たちの意見や要望を踏まえて適正に行われるためには、選挙が公正に行われ、代表として相応しい立派な人が選ばれなければなりません。そのためには、国民一人ひとりが選挙制度を正しく理解し、政治や選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策を正確に見る眼を備え、進んで投じることが必要です。買収や供応などの不正に惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは言うまでもありません。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

● 明るい選挙推進運動 ●

選挙を明るく正しいものにしようとする運動は古くから行われ、大正時代末に行われた後藤新平の「政治の倫理化運動」、青年団の父と呼ばれた田澤義鋪らによる「選挙肅正同盟会」などの活動がその起こりです。

男女普通選挙が実現した第2次世界大戦後、昭和26年に行われた統一地方選挙で、選挙違反の検挙者が6万人を超えました。その翌年に予定されていた衆議院選挙に向けての事前運動も激しく行われたので、これではいけないという国民の声が強くなり、新聞社の支援や国会の決議もあって、官民あげての「公明選挙運動」が展開されることになりました。その後名称を「明るい選挙推進運動」と変更し、現在約7万人の方々ボランティアとして参加し、3つの目的を掲げて活動しています。

- ①有権者が、普段から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと。
- ②有権者が、こぞって投票に参加すること。
- ③選挙違反のないきれいな選挙が行われること。

運動の発端であった「きれいな選挙」については、選挙違反の数は減ってきておりますが、皆無になったわけではありません。「こぞって投票に参加すること」については、近年投票率の低下が大きく、運動の重点はこちらに移ってきています。「普段から政治と選挙に関心をもってもらう」については、粘り強く活動していかなければと考えています。

● 明るい選挙推進協議会 ●

明るい選挙推進運動は、全国ほとんどの市区町村に設置されている明るい選挙推進協議会によって進められています。団体によりその構成は違いますが、自治会、女性団体、老人会、青年団など各種団体参加者、公民館などの社会教育関係者、地方紙などマスコミ関係者などで構成されています。その他、教員OB、PTA代表者、公募による参加者もいます。

日常的には身近な暮らしの問題をテーマとする話し合い活動や議会傍聴、政治・選挙に関する講演会の開催、市民まつりなどイベントでの呼びかけなどを行っています。選挙時には駅前など街頭に立ち、投票参加や違反のない選挙を呼びかけています。

啓発ポスターについては、ところによっては明るい選挙推進協議会の委員が、作品募集の依頼のために学校を訪問したり、審査員に加わるなどしております。

また、プレ有権者に対する取り組みとして、小学校、中学校、高校の授業時間、生徒会選挙などにおいて、選挙の仕組みを教えたり、実際の投票箱等を使用して模擬選挙を行うなどの出前授業にも取り組んでいるところもあります。

● 明るい選挙推進協会 ●

明るい選挙推進協会は、全国の都道府県・市区町村の「明るい選挙推進協議会」を会員とした公益財団法人です。明るい選挙推進運動の全国組織として、明るい選挙の実現を目標に、全国約6万5千人のボランティアの方々とともに活動しています。

子どもたちの可能性を引き出す ポスターコンクールの意義

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田 朝一

● はじめに ●

一昨年前から続いている新型コロナウイルス感染症拡大から、学級閉鎖や学年閉鎖、オンラインでの授業が実施されたり、学校行事が変更されたりするなど、まだまだ影響が収まらない状況が続いています。そうした状況の中でも、全国の先生方におかれましては、子供たちの学びを止めないように、感染予防に向け教室等の環境を整えたり、授業を改善されたりするなど、日々努力していただいていることに深く感謝いたします。これから、この感染状況がどのようになっていくか予測困難な状況ではありますが、こういった状況を乗り越えていくためにも、引き続き、皆様方の多大なる御理解・御協力を心よりお願い申し上げます。

本年度も全国各地から本コンクールにたくさんの応募をいただき感謝申し上げます。今年度は全国から小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などから、116,776点の応募がありました。小学校1年生から高等学校3年まで、幅広い年齢の児童生徒の皆さんの作品を見させていただきました。発達段階は違いますが、伝えることを意識して、創意工夫して描かれた作品に出会うことができたことをとても嬉しく思います。どの作品にも「明るい選挙」のテーマについてしっかり考えられており、独創性を発揮した力作ばかりで、審査に当たっては大変苦勞いたしました。このような質の高い作品が多数応募されるコンクールが長年にわたって続けられている背景には、主催者を始め関係者の方々の多大なご努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、ご指導いただいた学校の先生方や保護者の皆様、多くの方々の支援があったからだと思います。今回のコンクールに応募した児童生徒は「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、自分自身が感じたことや考えたことなどから発想や構想をし、材料や用具を工夫したり試行錯誤したりしながらそれぞれの個性を活かして表現したことと思います。図画工作や美術の学習において描くことを通して身に付けた資質・能力というのは生涯にわたって生きて働く力となるものであり、全ての児童生徒がそれぞれの発達の段階においてこれからの予測が困難な社会を生きる上でも身に付けてほしい資質・能力であります。このような児童生徒の資質・能力の育成とともに、よさや可能性、個性の伸張につながるポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

● 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる ●

学習指導要領が小学校では一昨年度に全面実施され、中学校では昨年度に全面実施されました。そして、高等学校では今年度から年次進行で実施されています。

今回改訂された学習指導要領では、例えば中学校美術科を例にしてみると、教科の目

標で、美術は何を学ぶ教科なのかということを示し、感性や想像力を働かせ、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを一層重視しています。そのために、育成を目指す資質・能力を明確にし、生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されました。

小学校図画工作科の目標には「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力」を、高等学校芸術科の目標には「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成することが示されています。

中学校美術科の目標の中には「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成することが記載されており、今回の改訂では、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるができる生徒の姿を念頭に置いて育成を目指す資質・能力を具体的に示すようにしています。中学校学習指導要領解説の美術編には、「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力とは、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の形や色彩などの造形の要素に着目し、それらによるコミュニケーションを通して、一人一人の生徒が自分との関わりの中で美術や美術文化を捉え、生活や社会と豊かに関わるようにするための資質・能力のことである」と記しています。生活や社会の中での美術や美術文化への関わり方には様々なことが考えられます。例えば、子供たちは生活の中で、美しく分かりやすいように作成されたチラシやポスターなどを見ることがあるでしょう。描かれた絵や文字、色彩などの美しさ、内容の面白さなどに気付いたり、商品や伝えたい内容に興味をもったり共感したりすることもあるでしょう。このように、生活の中で造形的な視点をもって身の回りの様々なものからよさや美しさなどを感じ取ったり、形や色彩などによるコミュニケーションを通して多様な文化や考え方に接して思いを巡らせたりすることで心豊かな生活を形成することにつながっていくのではないのでしょうか。そういった意味からも、身のまわりのチラシやポスターなどをみて、伝えたい内容をどうやって分かりやすく伝えているか、表現の意図や工夫を考えてみることも大切です。

● 伝える内容を効果的に相手に伝える ●

身の回りには、デザインされたものがたくさんあり、私たちはデザインされたものに囲まれて生活しています。例えば、街や駅でたくさんのポスターを見ることができ、商品や伝えたいメッセージを、見る人に分かりやすく伝えてきます。このように、人は日々、身の回りの形や色彩などから様々な影響を受けており、これらのものはつくった人が、見る人や使う人の立場に立って美しさ、楽しさ、使いやすさなどを考えて表現したものです。例えば、中学校美術科のA表現(1)イの(i)では、生徒一人一人が目的や条件などを基に、見る人や使う人の立場に立って主題を生み出し、身近な生活や社会をより美しく心豊かなものにしていくために、使いやすさや美しさなどを考えて発想し構想を練ることを重視しています。また、見る人の立場に立って、ポスターについて考えて、身近な生活や社会をより美しく心豊かなものにしていくために、使いやすさや美しさなどを考えて発想し構想を練ることを重視しています。

このような見る人の立場に立って、美しさや、楽しさなどを考えて表現していくためには、客観的な視点に立って考えることが大切です。そのためには、鑑賞の活動と関連させて生活や社会の中の美術の働きと自分との関係を見つめる機会を設け、言語活動などを活用しながら考えを広げたり深めたりすることも必要です。同時に、〔共通事項〕

に示されている造形の要素の性質や、それらが感情にもたらす効果などに対する理解を実感的に深めながら、生徒が目的や条件などを基に表現の主題を明確にしていく過程を重視していくことが大切です。

また、鑑賞することで、作者の思いや願い、作品に対するコンセプトなどを考えながら機能性と美との調和、表現技法の選択や材料の活かし方の工夫などについて着目することも考えられます。デザインや工芸の鑑賞では、自分の感覚や印象を大切にすると同時に、合理的、客観的な視点ももちながら読み取ることも大切です。その際、デザインのもつ、ここでは伝えるなどの目的や機能と、作品に対する作者の思い、表現の意図や工夫などについて対話などを通して説明し合う中で、自分にはない新たな見方や感じ方に気付かせたり、多くの人が共通に感じる客観的な見方や捉え方などについて考えさせたりすることが重要です。また、発想や構想の学習と関連させることで、見方や感じ方が一層広がっていくことが考えられます。

このように、客観的な視点を大切に、表現の学習と鑑賞の学習の指導を関連させていくことと、対話的な活動を大切にすることが考えられます。

主体的・対話的で深い学びの視点から授業の改善にもつなげ、子供一人一人のよい点や可能性を活かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出していくようにすることが大切です。

ここでは、中学校美術科の内容を中心にお話ししてきましたが、伝えたいことや表したいことをどうやったら相手に効果的に伝えることができるのか、見る人の気持ちや立場に立って考えることも大切でしょう。

● おわりに ●

今回の審査会では、小学校から中学校、高等学校まで多くの優れた作品と出会うことができました。伝えたいことや表したいことを、どのように表すか創造的に工夫された作品が多く、その作品にしかない素晴らしいよさがあり、どの作品もそれぞれの子供たちの思いや粘り強く挑戦した姿を想像できるものでした。その時期だからこそ感じたり考えたりする姿を大切にしながら審査し、それぞれの児童生徒の発達段階を考慮して、児童生徒の考えたことや工夫したことを読み取るように努力いたしました。全国審査に集まった作品は全国各地の地方審査を通して、多くの審査員の心をつかんだ作品ばかりです。このような素晴らしい作品に出会えたことに感謝申し上げます。

令和4年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集（第74回）要項

①趣旨

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙は明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいていただきたいのです。

②応募規定

(1)内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

(2)応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

(3)募集期間

令和4年5月9日（月）から令和4年9月9日（金）まで

(4)締切日と提出先

令和4年9月9日（金）までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。※市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください。

(5)画材

描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません）

(6)大きさの基準

画用紙の四ツ切（542mm×382mm）、八ツ切（382mm×271mm）もしくはそれに準じる大きさ

(7)応募上のご注意

- ①作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を必ず記入してください。
- ②応募作品は、原則として返却しません。
- ③入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。
- ④入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

③審査

(1)第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。

(2)第2次審査（地方審査）

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査（中央審査）へ提出します。

(3)第3次審査（中央審査）

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。

文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

④賞

(1)小・中・高別に次の賞を贈ります。

- ①文部科学大臣・総務大臣（連名）の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）からの副賞
小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名
- ②公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）の賞状と副賞
小学校・中学校・高等学校 各学年若干名

(2)第3次審査（中央審査）に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。

⑤発表

11月初旬の予定

主催	公益財団法人明るい選挙推進協会	都道府県選挙管理委員会連合会
	都道府県選挙管理委員会	市区町村選挙管理委員会
後援	文部科学省 総務省	都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

公益財団法人明るい選挙推進協会ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>
都道府県選挙管理委員会連合会ホームページ <http://www.todofuken-senkan.jp/>

令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第74回) 応募状況

都道府県	応募学校数				応募者数				中央審査提出数				
	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	
北海道・東北	北海道	31	30	2	63	145	212	29	386	3	3	3	9
	青森県	14	12	6	32	145	65	33	243	3	3	4	10
	岩手県	43	28	7	78	714	139	93	946	7	3	8	18
	宮城県	88	50	2	140	313	293	18	624	4	3	2	9
	秋田県	5	17	6	28	7	96	48	151	3	3	5	11
	山形県	94	46	4	144	907	1,019	30	1,956	8	9	3	20
	福島県	34	43	6	83	172	475	28	675	3	5	3	11
関東甲信越静岡	茨城県	209	132	6	347	1,537	1,826	29	3,392	10	11	3	24
	栃木県	201	92	5	298	1,475	706	38	2,219	10	7	0	17
	群馬県	165	133	5	303	1,974	4,543	136	6,653	12	19	1	32
	埼玉県	344	166	20	530	4,067	2,217	147	6,431	18	13	10	41
	千葉県	220	82	7	309	1,140	862	9	2,011	9	7	1	17
	東京都	460	320	54	834	5,770	11,215	840	17,825	22	33	27	82
	神奈川県	162	63	12	237	1,427	609	87	2,123	10	6	7	23
	山梨県	105	48	4	157	1,933	1,441	23	3,397	12	10	3	25
	長野県	154	38	4	196	3,483	418	16	3,917	17	5	2	24
	新潟県	38	15	8	61	311	84	13	408	4	3	2	9
	静岡県	162	101	22	285	1,487	833	204	2,524	10	7	5	22
東海・北陸	富山県	47	49	6	102	228	602	49	879	3	6	5	14
	石川県	20	18	4	42	48	116	66	230	3	3	6	12
	福井県	80	37	2	119	646	914	32	1,592	6	8	4	18
	岐阜県	92	65	7	164	614	451	86	1,151	6	5	7	18
	愛知県	729	339	20	1,088	5,971	6,712	255	12,938	22	24	14	60
	三重県	65	43	4	112	795	494	21	1,310	7	5	3	15
近畿	滋賀県	22	21	2	45	86	201	3	290	3	3	1	7
	京都府	69	38	4	111	773	628	109	1,510	6	6	2	14
	大阪府	125	65	15	205	3,177	2,507	564	6,248	16	14	22	52
	兵庫県	256	139	15	410	1,807	4,272	243	6,322	11	19	13	43
	奈良県	27	17	2	46	338	406	13	757	4	5	2	11
	和歌山県	7	15	7	29	165	236	63	464	3	3	6	12
中国	鳥取県	6	12	3	21	14	92	52	158	3	3	6	12
	島根県	13	18	5	36	570	71	9	650	6	3	1	10
	岡山県	38	40	5	83	68	426	29	523	3	5	3	11
	広島県	42	47	12	101	1,014	706	90	1,810	5	5	5	15
	山口県	77	41	8	126	243	246	44	533	3	3	1	7
四国	徳島県	73	41	7	121	429	794	14	1,237	5	7	2	14
	香川県	76	44	6	126	533	471	170	1,174	6	5	11	22
	愛媛県	116	65	15	196	606	875	93	1,574	6	7	8	21
	高知県	7	10	3	20	23	79	86	188	3	3	7	13
九州	福岡県	171	87	13	271	8,471	6,130	149	14,750	23	20	7	50
	佐賀県	70	27	8	105	560	215	45	820	6	3	5	14
	長崎県	48	35	12	95	116	415	133	664	3	5	10	18
	熊本県	63	15	2	80	142	96	5	243	3	3	0	6
	大分県	45	25	3	73	400	364	67	831	4	4	6	14
	宮崎県	70	31	5	106	255	192	36	483	3	3	4	10
	鹿児島県	45	53	3	101	252	704	10	966	3	7	1	11
	沖縄県	20	30	12	62	201	312	87	600	3	4	7	14
合 計	5,048	2,883	390	8,321	55,552	56,780	4,444	116,776	343	341	258	942	

※昨年度応募者数 113,233

文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	山口県	上山 穂高	宇部市立原小学校
小学2年生	埼玉県	尋々岡 大智	戸田市立新曾小学校
小学3年生	京都府	佐藤 柑菜	木津川市立州見台小学校
小学4年生	群馬県	相京 はぐみ	吾妻郡東吾妻町立太田小学校
小学5年生	山梨県	高橋 杏奈	笛吹市立八代小学校
小学6年生	新潟県	日野 宗悦	上越市立清里小学校
中学1年生	東京都	宮成 里奈	昭島市立清泉中学校
	愛知県	福村 奈未	一宮市立葉栗中学校
中学2年生	栃木県	岩崎 叶佳	宇都宮市立鬼怒中学校
	広島県	河村 園美	広島市立伴中学校
中学3年生	東京都	木村 花妃	墨田区立墨田中学校
	愛知県	相浦 諭子	名古屋市立鎌倉台中学校
高校1年生	大阪府	高井 真奈	府立工芸高等学校
	香川県	富士 由依奈	県立高松工芸高等学校
高校2年生	大阪府	岡本 愛花	府立工芸高等学校
	愛媛県	大内 優	県立宇和島東高等学校
高校3年生	香川県	水沼 快	県立高松工芸高等学校
	沖縄県	大前 夢生	県立開邦高等学校



小学1年生 上山 穂高 山口県 宇部市立原小学校

「あかるいせんきょ」の言葉とあわせて、2人の子供が両手を大きくひろげ、楽しそうな笑顔が印象的な作品です。この絵のようにみんなが楽しくなるような気持ちで選挙に向かっていってくれるといいですね。



小学2年生 多々岡 大智 埼玉県 戸田市立新曾小学校

赤や黄色、青色といった様々な色で塗られた飛行機に、たくさんの人が乗っているようです。「あかるいせんきょ みんなで行こう」の言葉からも、明るい笑顔で一緒にみんなで選挙に行こうという気持ちが伝わってきます。



小学3年生 佐藤 柑菜 京都府 木津川市立州見台小学校

画面の真ん中の大きな虹には、様々な職業の方や年齢の方が描かれています。みんな笑顔で「にじの投票箱」に投票用紙を持って向かっています。投票することで明るい未来につながっていくことを伝えてくれています。



小学4年生 相京 はぐみ 群馬県 吾妻郡東吾妻町立太田小学校

画面いっぱいに、たくさんの顔が描かれていて、よく見ると赤ちゃんからお年寄りの方、中には動物達もいます。「みんなで参加しよう」の文字からも笑顔があふれる社会になるように選挙に行こうという気持ちが伝わってくる作品です。



小学5年生 高橋 杏奈 山梨県 笛吹市立八代小学校

背景は無彩色で描かれ、画面の真ん中には虹が投票箱に架かり、周りの街は様々な色で塗られています。「いろどりある未来を」の文字のように、投票することで色が変わり素敵な未来になってほしいという気持ちが伝わってきます。



小学6年生 日野 宗悦 新潟県 上越市立清里小学校

画面を7つに分けて、学生やお年寄りの方、消防士やサラリーマンの方など、様々な年齢や職種の人たちが描かれています。背景から様々な暮らしも想像できます。投票がこの暮らしにつながっていくことを伝えてくれています。



中学1年生 宮成 里奈 東京都 昭島市立清泉中学校

「自分達で創る 自分達の未来 行こう選挙」の言葉にあるように、何人かの人たちが、未来の文字を金槌と釘でつくっています。1人1人の投票から、自分達の未来がつけられていくということが見る人に伝わってきます。



中学1年生 福村 奈未 愛知県 一宮市立葉栗中学校

7人の生徒達が、画面真ん中の木に様々な色の星形の飾りを協力して付けていて、その飾りは未来の文字になっています。1人1人が投票することで、明るい未来が訪れることが伝わってくる作品に仕上がっています。



その票で未来づくり

中学2年生 岩崎 叶佳 栃木県 宇都宮市立鬼怒中学校

投票箱を外から見る2人、その中では、投票用紙が小さく分かれていき、学校や公園、病院などといった未来の街が広がっています。1人1人の投票が街づくりにつながっていくことが、投票箱の中と外を描いて表現されています。



中学2年生 河村 園美 広島県 広島市立伴中学校

これから記入しようとする投票用紙の先には、青空の世界が広がっています。「選挙」のそれぞれの文字に、「選ぼう、未来。」と「挙げよう、意見。」が続く印象的な作品です。選挙の大切さを効果的に表現しています。



中学3年生 木村 花妃 東京都 墨田区立墨田中学校

「日本を元気にする選挙」の文字が、日本地図の形に合わせて大きさや向きを変えて描かれています。背景には大きな花火が二つ、美しいグラデーションを効果的に活用して描くなど、とても印象的な作品に仕上がっています。



中学3年生 相浦 諭子 愛知県 名古屋市立鎌倉台中学校

投票する生徒の表情が少し笑顔でとても堂々としています。髪の毛やネクタイが揺れていて、新しい風が今まさに起こっているかのようなようです。「その手で未来を創るのだ」という文字からも強い意志で投票する様子が伝わってきます。



高校1年生 高井 真奈 大阪府 府立工芸高等学校

投票箱の形を曲げて動きを表現すると同時に、手には投票用紙やメガホン、ボンボンなどが描かれ、吹き出しもたくさん描かれています。明るい配色で動きのある表現となるよう工夫されていて、迫力ある作品に仕上がっています。



高校1年生 富士 由依奈 香川県 県立高松工芸高等学校

高校生が投票している背景に、青い投票用紙のような紙に、線だけで将来の風景が描かれています。手前の生徒は明るい配色で表現されていて、対比が工夫されています。未来を大切にするための一票であることが伝わってきます。



そうだ、
選挙に行こう。

高校2年生 岡本 愛花 大阪府 府立工芸高等学校

様々な年齢の方や職業の方が同じ方向に歩いている様子が描かれています。色数も制限し、色の重なりも工夫されています。描かれた人々の先の「そうだ、選挙に行こう。」の文字から、皆で選挙に行こうという気持ちが伝わってきます。



高校2年生 大内 優 愛媛県 県立宇和島東高等学校

少女の頭には、想像した未来の街が描かれ、病院や遊園地、風力発電やゴミ箱まであり、筆を持った手で描いたビルの上側は投票箱になっています。「自分で描くまちづくり」の文字からも選挙の大切さが伝わってきます。



高校3年生 水沼 快 香川県 県立高松工芸高等学校

手帳に書かれた選挙の文字に、ピンクのマーカーを引いています。色と影から、選挙の文字に注目されるように工夫されています。「18歳だ！選挙へ行こう！」の文字も遠近感を表現しており、迫力ある作品に仕上がっています。



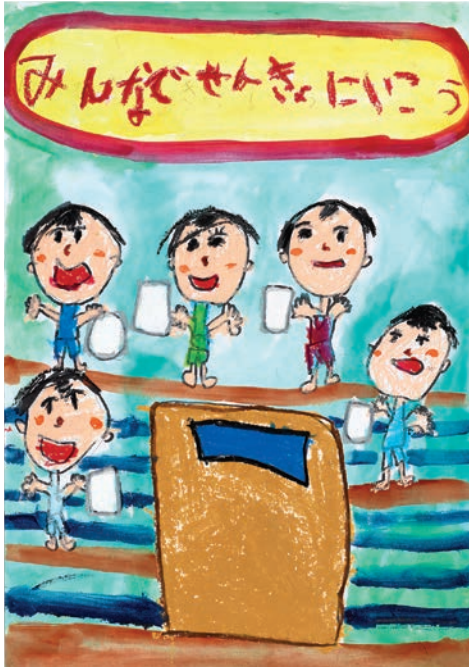
高校3年生 大前 夢生 沖縄県 県立開邦高等学校

標識の中の人、投票用紙を持っていて、歩く方向に投票箱も描かれています。その下の選挙の文字と矢印を描き、標識を斜めに配置することで動きのある画面になるよう工夫されています。選挙の大切さを効果的に表現した作品です。

公益財団法人明るい選挙推進協会会長・ 都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（60人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	岐阜県	田中 蓮	大垣市立興文小学校
	岡山県	周藤 昊	和気郡和気町立佐伯小学校
小学2年生	茨城県	吉原 美緒	下妻市立高道祖小学校
	鹿児島県	馬場 穂尚	指宿市立山川小学校
小学3年生	茨城県	箕輪 そら	行方市立麻生小学校
	埼玉県	荒井 柚穂	日高市立高萩小学校
小学4年生	福島県	持地 ひまり	いわき市立平第三小学校
	東京都	山脇 桃乃	練馬区立大泉第四小学校
	香川県	溝渕 百恵	高松市立浅野小学校
小学5年生	青森県	櫻庭 結葵	弘前市立大和沢小学校
	愛知県	矢筈原 愛華	一宮市立北方小学校
	大阪府	今村 南央	大阪市立太子橋小学校
	兵庫県	新井 実希	明石市立錦が丘小学校
小学6年生	北海道	後藤 百花	登別市立幌別西小学校
	東京都	安東 万紘	稲城市立城山小学校
	東京都	篠田 百祝	福生市立福生第一小学校
	静岡県	出野 愛來	浜松市立可美小学校
	岐阜県	渡邊 心結	瑞穂市立穂積小学校
	愛知県	入江 優希	岡崎市立岡崎小学校
	愛知県	坂口 來愛	半田市立乙川小学校
	大阪府	西森 蒼葉	阪南市立舞小学校
	兵庫県	谷川 陽香	洲本市立洲本第三小学校
中学1年生	福島県	村澤 和	会津若松市立第二中学校
	東京都	久保田 大亜	練馬区立関中学校
	東京都	日和佐 知世	足立区立第十一中学校
	東京都	宮地 ゆら	国分寺市立第三中学校
	静岡県	高田 梓	三島市立南中学校

学年	都道府県	氏名	学校名
中学2年生	東京都	星野 亜美	江東区立深川第六中学校
	東京都	尾澤 勘司	練馬区立開進第三中学校
	静岡県	宮脇 妃菜	浜松市立可美中学校
	石川県	松本 尤風	加賀市立錦城中学校
	福井県	麻王 夢芽	あわら市芦原中学校
	愛知県	大河内 優羽	大府市立大府西中学校
	香川県	増田 莉乃	綾歌郡綾川町立綾川中学校
	愛媛県	岡崎 勇太	今治市立日吉中学校
中学3年生	岩手県	馬場 彩夏	滝沢市立滝沢中学校
	東京都	小俣 結衣	江東区立深川第四中学校
	東京都	本多 葵	練馬区立石神井中学校
	愛知県	柘植 悠慶	稲沢市立稲沢西中学校
	大阪府	亭島 美里	大阪市立北稜中学校
	香川県	泉 明舞	善通寺市立西中学校
	福岡県	小野 琥太郎	糟屋郡宇美町立宇美中学校
	佐賀県	川久保 有華	西松浦郡有田町立西有田中学校
高校1年生	新潟県	五十嵐 菜那	県立新潟江南高等学校
	富山県	高澤 泉千花	県立富山北部高等学校
	愛知県	梅村 逢	県立豊田西高等学校
	岡山県	横田 和志	県立岡山工業高等学校
	山口県	北村 涼海	県立熊毛南高等学校
高校2年生	山梨県	中山 凜	駿台甲府高等学校
	石川県	中田 彩乃	県立工業高等学校
	大阪府	妹尾 つむぎ	府立工芸高等学校
	兵庫県	島 空仁祐	県立芦屋高等学校
	和歌山県	土井 彩乃	和歌山市立和歌山高等学校
	香川県	出井 友理	県立高松工芸高等学校
	沖縄県	鳥谷 梓葉	県立開邦高等学校
高校3年生	秋田県	加藤 里菜	県立角館高等学校
	愛知県	中村 実優	県立常滑高等学校
	大阪府	川野 麻衣子	府立工芸高等学校
	香川県	釜野 珠波	県立高松工芸高等学校
	香川県	小西 優歌	県立高松工芸高等学校



小学1年生 田中 蓮
岐阜県 大垣市立興文小学校



小学1年生 周藤 昊
岡山県 和気郡和気町立佐伯小学校



小学2年生 吉原 美緒
茨城県 下妻市立高道祖小学校



小学2年生 馬場 穂尚
鹿児島県 指宿市立山川小学校



小学3年生 箕輪 そら
茨城県 行方市立麻生小学校



小学3年生 荒井 柚穂
埼玉県 日高市立高萩小学校



小学4年生 持地 ひまり
福島県 いわき市立平第三小学校



小学4年生 山脇 桃乃
東京都 練馬区立大泉第四小学校



小学4年生 溝渕 百恵
香川県 高松市立浅野小学校



小学5年生 櫻庭 結葵
青森県 弘前市立大和沢小学校



小学5年生 矢筈原 愛華
愛知県 一宮市立北方小学校



小学5年生 今村 南央
大阪府 大阪市立太子橋小学校



小学5年生 新井 実希
兵庫県 明石市立錦が丘小学校



小学6年生 後藤 百花
北海道 登別市立幌別西小学校



小学6年生 安東 万紘
東京都 稲城市立城山小学校



小学6年生 篠田 百祝
東京都 福生市立福生第一小学校



小学6年生 出野 愛來
静岡県 浜松市立可美小学校



小学6年生 渡邊 心結
岐阜県 瑞穂市立穂積小学校



小学6年生 入江 優希
愛知県 岡崎市立岡崎小学校



小学6年生 坂口 來愛
愛知県 半田市立乙川小学校



小学6年生 西森 蒼葉
大阪府 阪南市立舞小学校



小学6年生 谷川 陽香
兵庫県 洲本市立洲本第三小学校



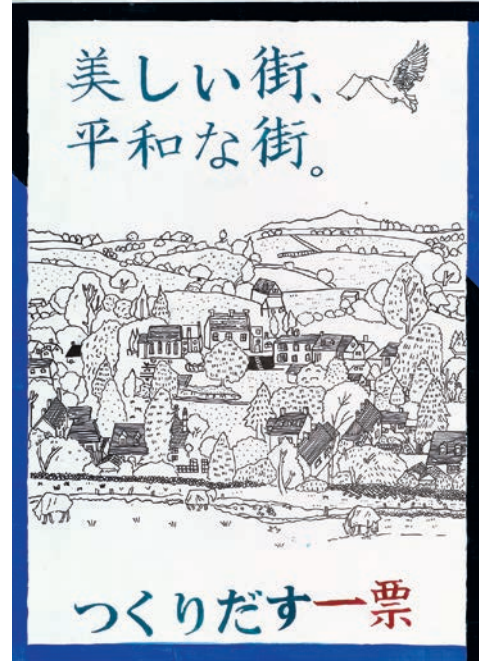
中学1年生 村澤 和
福島県 会津若松市立第二中学校



中学1年生 久保田 大亜
東京都 練馬区立関中学校



中学1年生 日和佐 知世
東京都 足立区立第十一中学校



中学1年生 宮地 ゆら
東京都 国分寺市立第三中学校



中学1年生 高田 梓
静岡県 三島市立南中学校



中学2年生 星野 亜美
東京都 江東区立深川第六中学校



中学2年生 尾澤 勘司
東京都 練馬区立開進第三中学校



中学2年生 宮脇 妃菜
静岡県 浜松市立可美中学校



中学2年生 松本 尤風
石川県 加賀市立錦城中学校



中学2年生 麻王 夢芽
福井県 あわら市芦原中学校



中学2年生 大河内 優羽
愛知県 大府市立大府西中学校



中学2年生 増田 莉乃
香川県 綾歌郡綾川町立綾川中学校



中学2年生 岡崎 勇太
愛媛県 今治市立日吉中学校



中学3年生 馬場 彩夏
岩手県 滝沢市立滝沢中学校



中学3年生 小俣 結衣
東京都 江東区立深川第四中学校



中学3年生 本多 葵
東京都 練馬区立石神井中学校



中学3年生 柘植 悠慶
愛知県 稲沢市立稲沢西中学校



中学3年生 亭島 美里
大阪府 大阪市立北稜中学校



中学3年生 泉 明舞
香川県 善通寺市立西中学校



中学3年生 小野 琥太郎
福岡県 糟屋郡宇美町立宇美中学校



中学3年生 川久保 有華
佐賀県 西松浦郡有田町立西有田中学校



高校1年生 五十嵐 菜那
新潟県 県立新潟江南高等学校



高校1年生 高澤 泉千花
富山県 県立富山北部高等学校



高校1年生 梅村 逢
愛知県 県立豊田西高等学校



高校1年生 横田 和志
岡山県 県立岡山工業高等学校



高校1年生 北村 涼海
山口県 県立熊毛南高等学校



高校2年生 中山 凜
山梨県 駿台甲府高等学校



高校2年生 中田 彩乃
石川県 県立工業高等学校



高校2年生 妹尾 つむぎ
大阪府 府立工芸高等学校



高校2年生 島 空仁祐
兵庫県 県立芦屋高等学校



高校2年生 土井 彩乃
和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校



高校2年生 出井 友理
香川県 県立高松工芸高等学校



高校2年生 鳥谷 梓葉
沖縄県 県立開邦高等学校



高校3年生 加藤 里菜
秋田県 県立角館高等学校



高校3年生 中村 実優
愛知県 県立常滑高等学校



高校3年生 川野 麻衣子
大阪府 府立工芸高等学校

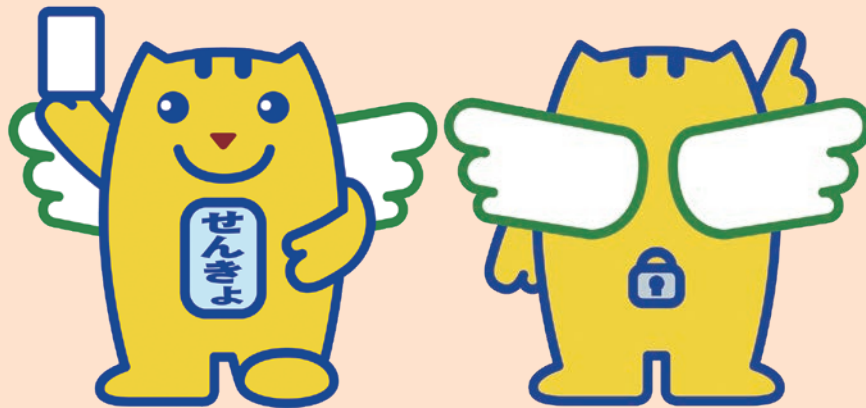


高校3年生 釜野 珠波
香川県 県立高松工芸高等学校



高校3年生 小西 優歌
香川県 県立高松工芸高等学校

このキャラクターは？



名前は「選挙のめいすいくん」。

明るい選挙推進運動のイメージキャラクターとして2000年4月に誕生しました。

「明るい」の「明」と、「推進」の「推」を引用して名前が付けられました。

投票を呼びかけるイベントや街頭啓発などで活躍しています。

「選挙のめいすいくん」をよく見てみると…

実は「選挙のめいすいくん」は投票箱をモチーフにしたキャラクター。頭にあるトラのしま柄のような2本の縦線は投票用紙の挿入口なのです。また投票箱の鍵をモチーフにした尻尾や、明るい選挙の実現に向かっていくための翼もついています。見かけた時はぜひ確かめてください。

明るい選挙啓発ポスターコンクール 令和4年度 全国優秀作品集

発行日 令和5年1月20日

編集・発行 公益財団法人明るい選挙推進協会

住所 東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F

電話 03-6380-9891

ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



こどもの国 ふれあい学び館

くさばな むし とり
草花や虫、鳥など
しぜん ようす
自然の様子も
まな
学べるよ!



はちう
鉢植えの
はな
お花が
きれいだよ!



フラワープランター



消防団防災学習・災害活動車両

みんなの
まち あんぜん
街の安全を
まも
守っているよ!



いちりんしゃ の
一輪車に乗って
たの
みんなで楽しく
あそ
遊ぼうよ!



一輪車

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>